

吹田操車場遺跡の川跡から縄文土器が出ました！



縄文土器が出土した川跡

吹田操車場遺跡は、旧国鉄吹田操車場跡地
 一帯に広がる旧石器時代から近代にかけての
 遺跡です。これまでの発掘調査で、主に弥生
 時代から平安時代の遺構・遺物が見つかって
 います。今回の調査（第9次調査）は、岸部
 中1丁目で市営住宅建設に先立ち、令和2
 （2020）年1月14日から5月15日にかけて、
 9か所の調査区を設けて行いました。その結
 果、地表下約1m地点の地山上で、縄文時代
 の川跡、奈良時代の須恵器を埋納した土坑、
 平安時代の谷状地形や鎌倉時代の道跡、近世
 の井戸や耕作溝跡などの遺構を検出しました。

遺物は縄文土器鉢、石鏃、須恵器鉢・甕、
 土師器皿、緑釉陶器、黒色土器碗、瓦器皿、

白磁碗、青磁、古代瓦、近世陶磁器、近世瓦、
 古銭「寛永通寶」などが出土しました。

（堀口健二）



川跡から出土した縄文土器

文化財保護の取り組み

埋蔵文化財の調査

吹田市内には現在約150か所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）があります。遺跡の中で開発等が行われると、遺跡が壊され失われる可能性があります。そこで、遺跡に影響があると判断される場合は発掘調査・試掘調査、遺跡に影響がないと予測される場合は工事の際に立会を行っています。令和元年度は発掘調査25件、試掘調査1件、立会67件を実施しました。

文化財の保存・管理・公開・活用

－文化財保存事業補助金の交付－

令和元年度は府指定有形文化財1件、市指定有形文化財1件、市指定無形民俗文化財1件、市地域無形民俗文化財4件の保存事業に補助金を交付しました。

－文化財の管理・公開－

国史跡七尾瓦窯跡、国史跡吉志部瓦窯跡、府史跡吉志部瓦窯跡（工房跡）、吹田34号須恵器窯跡および雉子礮碑について、管理を行うとともに一般公開しています（常時見学可）。

－文化財の普及・啓発－

文化財の啓発資料の作成・頒布、市内の遺跡等の文化財所在地への文化財説明板の設置等を行っています。令和元年度は、江坂素盞鳴尊神社本殿（市指定有形文化財）の説明板を設置した他、神境町地車（市指定有形民俗文化財）の説明板の修繕を行いました。



旧西尾家住宅外塀（鉄筋コンクリート塀）修理現場

◆旧西尾家住宅の保存・活用◆

旧西尾家住宅は建物等が国の重要文化財に指定され、庭園が国の登録記念物となっています。平成17（2005）年10月に旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）として開館し、現在、毎週水・土・日曜日に主屋計量部屋と庭園の公開を実施しています（要予約）。また、令和2年から令和11年まで大規模修繕を実施します。今年度は外塀（鉄筋コンクリート塀）の保存修理・耐震対策工事を実施しています。なお、工事期間中は公開範囲を変更する場合がございますので、見学の際はホームページ等で最新情報をご確認ください。

◆旧中西家住宅の保存・活用◆

旧中西家住宅は建物等が市指定有形文化財および国の登録有形文化財、庭園が国の登録記念物となっています。平成19（2007）年11月より旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）として一般公開を行っており、毎週水・土・日曜日に建物と庭園の公開、火・木・金曜日に庭園の公開を実施しています。また、春と秋には特別公開を行っています（いずれも要予約）。令和2年度は4月2日～7日に春の特別公開、11月21日～29日まで秋の特別公開を実施しました（春の特別公開は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため期間途中で中止）。

（河合 智子）



国登録記念物(名勝)旧中西氏庭園

高城遺跡の発掘調査

(高城町)

高城遺跡は、平成5（1993）年に住宅建築に伴う調査によって発見された遺跡で、現在では高城町・昭和町に展開することが確認されています。これまで18次に及ぶ調査によって、主に古墳時代・平安時代～中世の集落跡と考えられています。

今回の調査は分譲住宅の建築に伴い実施されたもので、通算19次目の調査です。調査では遺構面を2面確認し、現地表下約-60cmの1次面でピット（小規模な穴）1か所を、現地表下約-90cmの2次面でピット



調査区近景(北から)

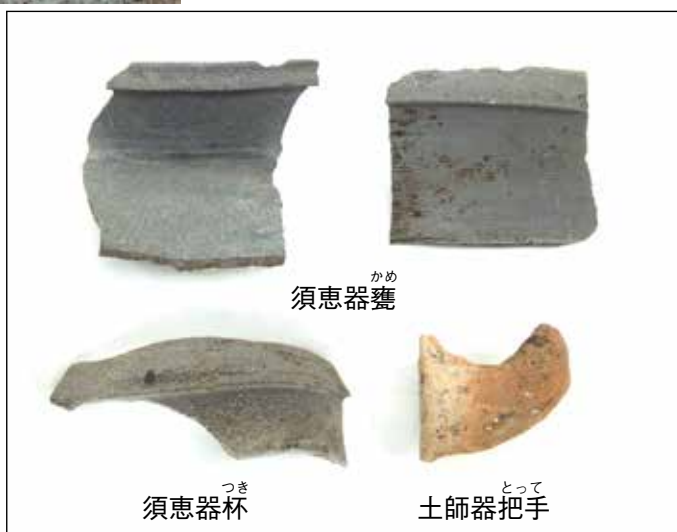


検出遺構(北から)

6か所を検出しました。出土遺物は遺構と遺物包含層から古墳時代の須恵器、土師器の破片が出土しました。平成28年度に実施した15・16次調査で古墳時代の隅丸方形の竪穴建物の一部をそれぞれ1棟ずつ検出しており、今回の調査で確認した2次面のピットも住居に関連した、高城遺跡の古墳時代集落の建物跡の一部である可能性があります。

(西本 安秀)

出土遺物▶



吹田操車場遺跡の発掘調査 (岸部中1丁目)



3区の道跡(北から)



2区の土坑からみつかった須恵器鉢

調査区全域にまたがって縄文時代の川跡を検出しました。川跡は最大幅6.8m、深さ1.8mで、大きくS字形にカーブしながら北西から南東へと流れていました。

2区の川跡埋土から吹田市内では極めて出土例が少ない、縄文時代晩期初頭の縄文土器浅鉢・深鉢のほか、石鏃が出土しました。縄文土器浅鉢は口径9.7cm、器高1.9cmで、底部の内外面を磨いた黒色磨研土器です。

2区の河畔で検出した土坑は、東西94cm、南北99cm、深さ8cmの大きさで、中には須恵器鉢が埋められていました。鉢は口径14.6cm、器高11.6cmほどで、鉄鉢を模した器形に高台が付く珍しい形です。時期は奈良時代(8世紀)です。この種の鉢は古代の寺院や官衙から出土する例から見て、一般の集落ではなく、寺院などの施設が近くに存在した可能性も考えられます。



3区では鎌倉時代の南北方向に走る道跡、近世の耕作活動に伴う小溝列と井戸と思われる土坑を検出しました。道跡は北から東へ5度振っ

た方向に延び、幅4m以上、深さ37cmで、2条の側溝と考えられる小溝を伴っていました。埋土から土師器皿・羽釜、須恵器甕、黒色土器、白磁、青磁、瓦器碗、瓦質土器、平瓦が出土しました。

5区で平安時代の落ち込み、近世の耕作に伴う杭列、土坑列、井戸を検出しました。落ち込みは南北方向に延び、幅4.9m以上、深さ16cmで、1区で検出した落ち込みの続きとみられます。埋土から土師器、須恵器甕、磁器が出土しました。杭列は段差の上端に、土坑列は下端に沿うように設けられていて、ともに3区で検出した道跡とほぼ同じ方位です。杭列は田畑を区画

する護岸の可能性があります。土坑列については用途が不明です。



5区の落ち込みと杭列



5区(拡張区)の井戸

5区(拡張区)で素掘りの井戸が見つかりました。直径1.7m、深さ2.7m以上で、中から土師器、須恵器、白磁碗、近世陶器、近世瓦が出土しました。



1区の落ち込み

1区で平安時代の幅12.3m以上、深さ54cmの浅い落ち込みと粘土採掘坑と思われる土坑を検出しました。中から土師器、須恵器、黒色土器、瓦器が出土しました。(堀口健二)

調査区平面図

垂水南遺跡の発掘調査

(垂水町3丁目)

垂水南遺跡は吹田市垂水町2・3丁目、江坂町1丁目に展開する、弥生時代～中世の複合遺跡です。これまで62次に及ぶ調査により主に古墳時代前期～中期の集落跡で、竪穴建物、掘立柱建物、土坑、井戸、溝などが検出されています。出土遺物は集落内で日常に使用された地元産の土器の他、東海系・山陰系・吉備系等の他地域産の土器が含まれ、古墳時代の人々の交流の一端を示すものと考えられています。その他、鉄の鍛冶生産、玉造関係の生産も行われたことが確認されています。

今回の調査は通算63次調査で、共同住宅建築工事に伴う事前調査として令和2(2020)年2～3月に実施したものです。当調査地では4次に及ぶ遺構面が確認されました。1次面は現地表面から下約1.1m付近の標高(T.P.) 1.7mで認められ、南側に傾斜する落ち込み(深さ約40cm)が検出されました。落ち込みの堆積土からは古墳



1次面 落ち込み(西から)



2次面 落ち込み(東から)



2次面 ピット(南から)

時代の中・後期の杯、壺、甕等の須恵器が出土しました。2次面は1次面の5cm下にあり、落ち込み、ピットが認められました。3次面は2次面の10cm下にあり、落ち込み、溝、ピットが検出されました。4次面は標高約1.1m付近で認められ、東西方向の水田畦畔(幅約40cm、高さ約10cm)、ピットが検出されました。ピットは約400か所も認められ、中には人の足跡と判別でき



4次面 ピット群(北から)

るものもありましたが、多くは不整形な形状のものでした。4次面は水田層と考えられ、^{そういてき}層位的にみて古墳時代をさかのぼる可能性もあります。

出土遺物は遺構、^{いこう}遺物包含層^{いぶつほうがんそう}等で認められ、その内容は、弥生土器甕・壺、古墳時代

代の土師器壺・

甕・^{たかつき}高杯・鉢・

^{きだい}器台^{かまどがたどき}、甕形土器

(4～6世紀)、

須恵器杯・壺・

甕・^{はそう}甕(5～6

世紀)、^{かつせきせい}滑石製

^{そうこうえんばん}双孔円板等が確

認されました。

以上のとおり、

今回の調査では

4次にわたる遺

構面に落ち込

みが確認されま

した。当調査地の

北隣で実施され

た4次調査(昭



4次面 水田畦畔(東から)

和52年度実施)・51次調査(平成7年度実施)では古墳時代前期の竪穴建物、溝、土坑、ピット群が検出されており、今回検出した2・3次面の遺構はそれに関連した古墳時代の所産で、落ち込みは^{びこうち}微高地に展開する住居域の南端に当たるものと考えられます。

(西本 安秀)



弥生土器 甕



須恵器 杯



須恵器 高杯



須恵器 壺

出土土器

令和2年度特別企画「むかしのくらしと学校」

《イベントの案内》

◆親子体験講座◆

「昔は草木で染めたんだあー草木染め体験」

日時／令和3年1月23日(土)

午後2時～4時

講師／博物館ボランティア

場所／講座室

定員／10組

対象／小学生・中学生・保護者

申込／1月5日(火)必着

◆子供体験講座◆

「手づくりおひなさま」

日時／令和3年2月7日(日)

午後1時30分～3時30分

講師／エコおもちゃ作り市民塾の皆さん

内容／和紙、木材等を使って作ります。

場所／講座室

定員／15名

対象／小学生以上

申込／1月26日(火)必着

◆親子体験講座◆

「大昔のアクセサリ ～勾玉づくり～」

日時／令和3年2月13日(土)

午前の部 10時～12時

午後の部 1時30分～3時30分

講師／博物館学芸員・博物館ボランティア

内容／ろう石を削ったり、磨いたりして、
大昔のアクセサリ～まが玉を作ります。

場所／講座室

定員／午前、午後の部とも各20名

対象／小学生・中学生・保護者

申込／2月2日(火)必着

◆子供体験講座◆

「ミニチュア銅鏡づくり」

日時／令和3年2月20日(土)

午前の部 10時～11時30分

午後の部 1時30分～3時

講師／博物館学芸員・博物館ボランティア

内容／五反島遺跡出土の銅鏡の3分の1
ミニチュアをつくります。

場所／講座室

定員／午前、午後の部とも各10名

対象／小学3年生～中学生

(小学生の場合は保護者同伴)

申込／2月9日(火)必着

◆親子体験講座◆

「昔のあかりと火おこし体験」

日時／令和3年2月27日(土)

午前の部 10時～12時

午後の部 1時30分～3時30分

講師／博物館ボランティア・博物館学芸員

内容／ろうそく、行灯、石油ランプなど、
昔のあかりを学習し、火打ち石や
まいぎり等の火おこしを体験します。

場所／講座室(火おこしは屋外)

定員／午前、午後の部とも各10組

対象／小学生・中学生・保護者

申込／2月16日(火)必着

◆子供体験講座◆

「手作りおもちゃ教室」

日時／令和3年3月7日(日)

午前の部 10時～12時

午後の部 1時30分～3時30分

講師／心ふれあいS A吹田おもちゃ部会の皆さん

内容／昔の遊び道具と牛乳パックや身の回りに
ある材料を使っておもちゃ作りをします。

場所／講座室

定員／午前、午後の部とも各15名

対象／5歳～中学生

申込／2月23日(祝・火)必着

■■ 申込方法 ■■

吹田市役所ホームページの電子申込システムからの申込か、はがき、またはFAXに、講座名、希望の時間帯、参加者全員(付き添い含む)の名前(ふりがな)、郵便番号、住所、学年、電話番号を書いて博物館まで。申込多数の場合は、抽選となります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントが中止になることもあります。最新情報はホームページまたは電話でご確認ください。